

各 位

平成18年11月29日
近畿日本ツーリスト株式会社
総務・広報部 担当：澤野井
(TEL：03 - 3257 - 1661)

旅行取扱状況の概観（平成18年10月分）

海外旅行の取扱額では、団体旅行は一般団体が取り扱い堅調で前年比プラス、学生団体も前年比で2桁増と好調で、合計では前年実績を大きく上回り、前月に続いての前年比プラスと好調であった。企画旅行は、ホリデイが好調で大きく取り扱いを伸ばし、その他企画商品も取り扱いが好調で、合計では前年実績を大きく超えた。個人旅行はクーポン券の取り扱い低調により落ち込み3ヶ月振りの前年比マイナスとなった。

海外旅行合計は、団体旅行、企画旅行が共に好調で、前年比103.7%で6ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移した。

国内旅行の取扱額では、団体旅行は一般団体、学生団体が共に取り扱い不振で、合計では大幅に前年実績を下回った。企画旅行は、メイトの取り扱い好調により3ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移した。個人旅行では、宿泊券が大きく前年を超え好調、航空券、JR券も堅調で前年実績を上回ったため、合計では3ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。

国内旅行合計は、団体旅行の不振が影響し、前年比99.3%と前年実績には届かなかった。

国際旅行は、団体旅行は好調であったが、個人旅行の取り扱い低調により前年比99.7%と前年実績には達しなかった。

10月の総取扱額は、海外団体旅行、国内・海外企画旅行、国内個人旅行は前年実績をオーバーしたが、国内団体旅行の不振が大きく影響し、前年比で100.9%に留まったが、6ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移している。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係の取り扱い好調により3ヶ月振りに前年比プラスとなった。学生団体は、海外修学旅行、その他研修旅行が共に取り扱いで大きく前年実績を上回り5ヶ月連続の前年比プラスと好調を維持している。団体の方面別取り扱いでは、香港、シンガポール、およびオセアニアが好調であった。

(2) 企画旅行

ホリデイは、取り扱いが増加し、取扱額前年比110.8%、取扱人数前年比102.8%と共に前年実績を上回り好調であった。取扱額と取扱人数の乖離には燃油サーチャージの影響が見られる。ホリデイの方面別取り扱いでは、中国、香港、シンガポールが目立って好調であった。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、再び取り扱いが落ち込み大きく前年実績を下回り低迷が続いている。学生団体は取り扱い件数が減少し、3ヶ月振りに前年比マイナスとなった。

(2) 企画旅行

メイトは、取扱額前年比108.7%、取扱人数前年比で104.3%と遠距離商品の好調により3ヶ月連続の前年比プラスと好調。商品別の状況は北海道、沖縄方面商品、および東京地区商品、関西地区商品が好調であった。

(以上)